

できるだけ負荷の少ない

介護の実現に

導入事例

Case Study
Interview

社会福祉法人
友愛十字会
砧ホーム様

[介護・医療]

腰が痛いという理由で介護職を辞めてしまうのはもったいない
マッスルスーツ導入で、長く働ける職場環境づくりに

POINT

- ポイント -

- 身軽に動けるSoft-Powerとアシスト力の強いExo-Power、
場面に応じて使い分け
- スタッフが安全に仕事ができることで、利用者にも安心感

導入された経緯を教えてください。

砧ホームでは、業務による腰痛により、スタッフの欠勤や退職が課題でした。長く働ける環境作りのために、電動タイプも検討しましたが、装着の手軽さからマッスルスーツの導入を選択。導入後、職員の腰痛による欠勤がなくなり、職場環境が改善しています。マッスルスーツは常に身に付けられ、使い勝手の良さが導入を後押ししました。

現在の使用状況を教えてください

砧ホームでは介護職員16人に対し、7台の外骨格タイプと4台のサポータータイプのマッスルスーツを導入しています。特に排泄介助や移乗介助に有効活用しており、使用職員は装着後の腰への負担軽減を実感しています。そして何より、マッスルスーツの導入により腰痛による欠勤が減少し、業務負担が改善ができています。今ではスタッフの半数ほどが使用しており、業務になくてはならないと実感しています。

お問い合わせ

Case Study Interview

介護・医療 での主な
マッスルスーツ活躍シーン

1. 排泄介助や体位変換
2. 入浴介助
3. 車いすから椅子、
ベッド、便座などへの
移乗介助

導入機種

- ・Exo-Power
- ・Soft-Power
- ・Every

Interviewee



武井安浩
施設長



三浦好顕
介護副主任